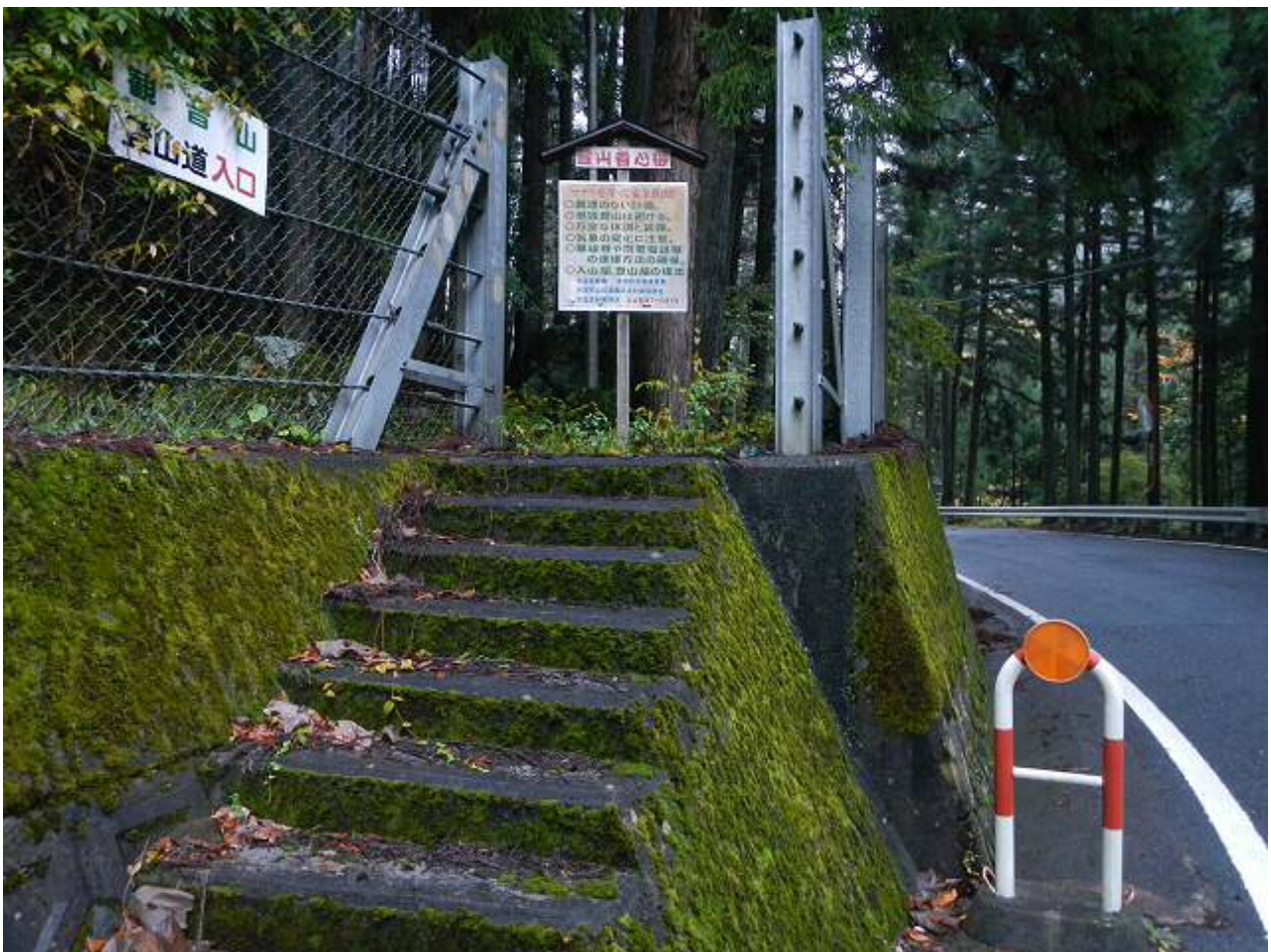


観音山～熊伏山

2014年11月2日(日) 曇

メンバー：池田T

ブナなどの自然林の紅葉を求めて観音山から熊伏山を縦走した。
中間のトサカ山の前後は急峻な小ピークの登り下りで体力を消耗した。
それを過ぎれば概ね穏やかな登り。途中には「ブナの広場」もあって癒された。



登山口の脇に駐車スペースは無いので100mぐらい北の道路脇に駐車した。登山道は入って左側にあります。

杉林の急な登りが続く。
標高1300mあたりからトラバース道となり、観音山ピークから400mぐらい北側で主稜線に出る。



主稜線のすぐ手前にあった熊檻。エサは仕掛けられていませんでした。



主稜線との合流点にある標識はこれだけ。道も目立たないのでここから下山する場合は要注意。



観音山の山頂。展望台や小屋の跡もありました。昔は栄えていた様子。



山頂近くの広場にはヘリポートが



カラマツ林。ここを過ぎたあたりから急峻な小ピークの連続が始まる。



ブナの大木。根元の直径は1m近くある。



鶏冠(トサカ)山の山頂。北北西に進みたいが崖になっているので少し右(東)側に降りてからトラバースする。

そのまま東の尾根を降りてはいけない。ピークでは進むべき方向をコンパスで確認する必要がある。



こんなピークが連続する。登り始めに巻き径らしい踏み跡がうっすら見られる場合があるが入るとハマります。



笹が生い茂っている区間が数百mあります。掻き分けて進みました。



こちらもブナの大木。胸高直径1m級。



ブナ広場（勝手に名づけた）。初級登山学校のビバーク訓練に良いかも。



熊伏山の山頂。展望はあまりない。



青崩峠の少し手前から信州側の風景。



青崩峠を示す碑。今回は最初から最後まで誰にも会いませんでした。



信州に向かう道。峠ではお地藏様が旅人を見守る。

【重要】ルータボは2020年3月末にサービスを終了します。
詳細は[こちら](#)をご覧ください。



「塩の道」を遠州側に200mほど下り、車道の終点にデポしておいた自転車に乗る。標高差400mの下りであつという間に車に着いた。

<タイム> 観音山登山口6:00－観音山山頂7:50－鶏冠山9:35－熊伏山11:50－青崩峠分岐12:15－青崩峠13:05－塩の道入口13:20－駐車地点13:35

以上